

予算審査特別委員会 第1分科会（総務企画防災常任委員会が所管する予算の審査を行う）

○一般会計

問 映像のまち構想はロケ地誘致もやっているが、日本と友好関係にある台湾やタイといった海外からのロケを誘致すれば、インバウンド効果もあると思うが、所見を聞きたい。

答 足利での撮影実績の中で、海外との太いパイプを持つ制作会社と交流を持てるようになった。それらの制作会社を通じて海外ロケの誘致や撮影が実現できるような形で、今後取り組んでいきたい。

問 コンビニ収納経費について、これは毎年933万円余の予算が計上されているがこの経費に見合った収納効果はあるのか。

答 収納効果は年々増加しており、平成27年度が14万1千件、平成28年度は14万5千件ほどを見込んでいる。

問 全国でご当地ナンバープレートを導入している自治体は

どのくらいあるのか。また、初期経費は、どのくらいか。

答 全国の約4分の1の自治体が既に導入を進めている。初期経費としてプレートの作成を3千枚ほど予定しているが、版代を含めたプレート作成費が90万円、広報費が20万円である。

問 分団詰所建設事業費の内訳を聞きたい。

答 建築工事費が3千800万円、内訳は詰所のほか、リフトといわれるホース乾燥塔及び外構工事であり、旧西分署解体費もこれに含まれている。そのほか電気設備工事費が約600万円、機械設備工事費が約400万円、合計4千800万円と算出している。



予算審査特別委員会 第2分科会（民生環境水道常任委員会が所管する予算の審査を行う）

○一般会計

問 コンビニエンスストア住民票交付事業費の内訳を聞きたい。

答 コンビニエンスストアに支払う手数料が196万8千円、システム維持管理のための保守委託料が341万4千円、証明書交付センター負担金が500万円である。

○介護保険特別会計

問 認知症総合支援事業費について聞きたい。

答 この費目は新設された費目である。事業費の内訳については、主に市の認知症総合施策で配置されている認知症地域支援推進員2名の委託料であり、そのほか、平成27年度から始めた認知症カフェの経費等が含まれている。

○太陽光発電事業特別会計

問 施設の維持管理等の委託に関する部

分は、どこに計上しているのか。

答 包括リース方式といい、施設リース料の中に維持管理費等を含めている。

○公共下水道事業特別会計

問 一般会計からの繰入金が増となった要因が雨水処理等の経費の増ということであるが、公共下水道事業は特別会計であり、公共下水道を使用されている方の負担にならないよう雨水を外して汚水だけを処理することはできないか。

答 公共下水道事業は公営企業法が適用になる事業であるので、独立採算が原則であるが、旧市内は合流区域であることから、汚水と雨水の両方を処理している。雨水処理については繰出基準の対象であることから、一般会計からの繰出金で補うという形で行っている。

予算審査特別委員会 第3分科会（教育経済建設常任委員会が所管する予算の審査を行う）

○一般会計

問 企業立地マッチング支援事業費の内容について聞きたい。また、平成27年度予算にも計上されていたが、その実績と今後の展開を聞きたい。

答 本事業費は、新産業団地や民間が市内に所有する未利用地等へ企業進出してもらうための活動経費として計上している。平成27年度は、新産業団地の関係で栃木県と共同で展示会等を東京や関西で5回ほど開催しているほか、金融機関等との連携といった体制づくりや事前PRを実施した。平成28年度は、新産業団地の造成も始まることから、今まで以上に県と一体となり取り組んでいきたい。

問 学校建設費の施設整備事業費等として1千万円余が計上されているが、この事業費は学校施設の修繕費用なのか。

答 同事業費は、プールの配管の改修やパソコン教室のエアコン工事、消防設備工事等の予算である。

問 学びの指導員や心の教室相談員等の今後の方向性を聞きたい。

答 現在、子供たちに寄り添い、授業の支援ができ、声も聞くことができる児童生徒相談員の増員を図っているところである。また、100名近い補助職員の質をどうするかといったこと

もある。採用のあり方等を見直しながら、学校のニーズに一番合った支援のあり方を考えていきたい。

